

第1号議案

令和元年度事業報告

公益財団法人頼山陽記念文化財団

令和元年度実施事業について、次のとおり報告します。

1 事業

(1) 特別展の開催（公1）

○広島県教育委員会と共同で「特別展実行委員会」を構成し、年2回開催。

○特別展の名称、開催期間、入館者数、展示解説会及び関連イベントに関する実績は、次のとおりである。

特別展の名称	期間	入館者数（人）			展示 解説会	参加者 数 （人）	関連 イベント	実施 日時	参加者 数 （人）
		有料	無料	計					
ひな人形展	1/25～ 3/6	402	359	761	中止	0	ひな祭り 茶会	中止	0
南画精華展	3/15～ 3/31	0	0	0	0	0	授賞式及 び内覧会	中止	0
入館者数計		402	359	761	参加者計	0	参加者計		0

○入館料

区 分	金 額	備 考
一 般	300 円(240 円)	() は 15 名以上の団体料金
小中高生	150 円(120 円)	() は 15 名以上の団体料金
65 歳以上	240 円	

(2) 頼山陽文化講座 (公2)

○講座スケジュール

回	実施期日・会場	講師	講座名	講座内容
1	6月22日(土) 5階研修室C	頼 祺一	総論 頼山陽の修史 事業	頼山陽の著作に結実した修史事業の 原点とその背景に迫っていきます。
2	7月13日(土) 6階マルチメ ディアスタジオ	湯谷祐三	源頼朝	頼山陽は源頼朝による鎌倉幕府樹立 を日本の歴史の「始変」と捉えています。 山陽は頼朝をどう描き、どう評価 したのか、読み解いていきます。
3	8月24日(土) 5階研修室C	見延典子	楠木正成	頼山陽が描いた楠正成は後世に大 きな影響を与え、それがその後の頼山 陽評価につながっていきました。改め て山陽が描いた正成に迫ります。
4	9月28日(土) 5階研修室A	花本哲志	足利尊氏	頼山陽は、南北朝の動乱を冷徹な目 で見据え、論を展開しました。歴史を「二 変」させた足利尊氏を山陽はどうか捉え ていたのでしょうか。
5	10月19日(土) 5階研修室A	進藤多万	十二人の女性 たち	頼山陽には、紫式部や清少納言、北条 政子ら歴史を彩った12人の女性たち を描いた十二媛絶句という作品があ ります。これを読み解いていきます。
6	11月30日(土) 5階研修室A	荒木清二	豊臣秀吉	頼山陽は、豊臣秀吉によって歴史は 「三変」したと捉えています。その著 作を読み解きながら、山陽が描いた豊 臣秀吉像に迫ります。

○定員：50名 申込者数：50名 平均受講者数：49.5名

○会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ
(広島市まちづくり市民交流プラザ)

(3) 学習会の開催（公2）

○日本外史を読む会（毎月第1，第3金曜日）

○会場：頼山陽史跡資料館館長室

○登録者数：13名

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
4月5日	日本外史P671～674	10	11月1日	日本外史P753～758	10
4月19日	日本外史P674～680	7	11月15日	日本外史P759～763	10
5月17日	日本外史P682～689	8	12月6日	日本外史P764～768	12
6月7日	日本外史P689～696	11	12月20日	日本外史P769～769	11
6月21日	日本外史P696～704	10	1月10日	日本外史P770～774	8
7月5日	日本外史P704～716	7	1月17日	日本外史P774～778	9
7月19日	日本外史P716～724	9	2月7日	日本外史P778～782	11
8月2日	日本外史P724～727	9	2月21日	中止	
9月6日	日本外史P728～735	10	3月6日	休館に伴い中止	
9月20日	日本外史P735～740	12	3月20日	休館に伴い中止	
10月4日	日本外史P740～748	10			
10月18日	日本外史P748～752	11			

○古文書研究会（毎月第2，第4木曜日）

○会場：頼山陽史跡資料館館長室

○登録者数：15名

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
4月11日	山陽手紙 山陽→千蔵宛	5	10月19日	飯岡義斎→静子へ	6
4月25日	春水の手紙 辛島才蔵宛⑧まで	6	10月24日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196-14 ⑤⑥⑦	7
5月9日	春水手紙1-⑧～⑨ 春水手紙2-①②③ 杏坪手紙3-①②③	6	11月14日	飯岡義斎→静子へ	8
5月23日	飯岡義斎→静子へ手紙	5	11月30日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196-16①～	7

6月13日	飯岡義斎→静子へ 手紙 P3～8	7	12月12日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196-18⑥～⑦	5
実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
6月22日	飯岡義斎→静子へ 手紙 P2～6	6	1月9日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196-18⑦～⑧	6
7月13日	飯岡義斎→静子へ 手紙 P6～10	6	1月23日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196-18⑨～⑫	8
7月25日	飯岡義斎→静子へ 手紙 P10～13	4	2月13日	飯岡義斎→静子へ P12, P13	8
9月12日	飯岡義斎→静子へ 手紙 P14～16	8	2月27日	飯岡義斎→静子へ P13, P14 Ⅲ-196-1, 2	6
9月28日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196-13 ①②③ ④	5	3月12日	休館に伴い中止	
10月10日	飯岡義斎→静子へ Ⅲ-196	7	3月26日	休館に伴い中止	

○通義研究会（毎月第1水曜日）

○会場：頼山陽史跡資料館館長室

○登録者数：8名

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
4月3日	論利 上を読む 「令和」について	7			
5月8日	論利 中を読む	4			
6月5日	論利 下を読む 終了	5			

(4) 茶会の開催 (公2)

茶会の名称	開催期日	協力者	参加人数
端午の節句茶会	5月5日	裏千家学校茶道連絡協議会	110人
敬老茶会	9月16日	広島市立袋町小学校お茶クラブ	137人
ひな祭茶会	中止 3月1日	煎茶道三癸亭賣茶流石村良雪氏	0人

(5) ロビーコンサート (公2)

コンサートの名称	開催期日	出演者	入場者数
ピアノとチェロによる夏の調べ	7月28日	占部久美子・豊原薫	17人
Sunday Afternoon Jazz	12月8日	久保直子・藤井由歌利・ 九十九清美	24人
新春コンサート	2月9日	木原朋子・齋藤愛・ 杉江慶子・古川裕貴	45人

(6) 第31回頼山陽文化講演会 (公2)

- 事業目的 広く一般を対象に、特別展に関連した内容の講演会を開催し、展示内容の理解を深める
- 会場 広島市まちづくり市民交流プラザマルチメディアスタジオ
- 日時 11月3日(祝)
- 参加者 74名
- 内容 「旧派の画人たちと芸術～もうひとつの近代日本美術史」
講師 大阪国際大学准教授 村田隆志氏

(7) 頼山陽記念文化賞 (公3)

- 対象
 - ①頼山陽もしくは頼山陽と関係のあった人物についての歴史的・文化的な研究又は文化遺産の保存等で成果を上げている個人もしくは団体

②広島県の歴史・文化等の分野で実践的な研究等で成果を上げている
個人又は団体

○推薦者

財団役員及び評議員，都道府県及び政令指定都市教育委員会

○募集期間：8月初旬～9月中旬

○選考方法

頼山陽記念文化賞選考委員会が選考した。(10月1日)

○令和元年度受賞者 皆川美恵子氏

○受賞式及び受賞祝賀会

令和元年11月11日(月) 会場：ANAクラウンプラザ広島ホテル

(8) 頼山陽書道展(公3)

○事業目的：頼山陽が生み出した語句を揮毫した作品を公募することで広島県における書道書写教育の振興を図るとともに、郷土が生んだ文豪・頼山陽の生涯と文芸に関心をもって学んでもらう場を創出する。

○課題：小学生(5・6年生)「真」「忠孝」

中学生「山紫水明」「浩然之氣」

高校生【創作】「天地無始終 人生有生死 安得類古人

千載列青史」(「葵丑歳偶作」の四句)

「不識庵機山を撃つの図に題す」(七言絶句)

「郷に至る」(七言絶句)

【臨書】「泊天草洋」

「外史脱稿戯作」(修史偶題十一首之一)

○募集期間：7月～9月30日

○作品受付：10月2日～10月12日

○出品料：小・中学生 1,000円 高校生 2,000円

○授賞： 特別賞 頼山陽賞 広島県教育委員会賞

広島市教育委員会賞 福山市教育委員会賞

熊野町教育委員会賞

特選(3名) 奨励賞(9名)

○審査員：頼祺一(頼山陽史跡資料館名誉館長)，

日比野貞勝(文教女子大名誉教授)，

信廣友江(安田女子大教授)，

上河綾子(海田高校教諭)

(県教委指導主事) 升谷英子, 谷崎栄子
 (観音高校教頭) 迫真一郎

○応募数：小学生 51 点, 中学生 55 点, 高校生 19 点 (計 125 点)

○審査会：日時 令和元年 10 月 13 日 (日) 10:00～

会場 広島市立袋町小学校体育館

○授賞式：令和元年 12 月 21 日 (土) 13:30～

○展示会：令和元年 12 月 21 日 (土) ～ 1 月 12 日 (日)

会場 頼山陽史跡資料館展示室・ロビー

来場者数 403 人

(9) 図書等頒布事業 (収益事業)

○事業目的

出版社等が刊行した頼山陽に関する書籍, 資料館がこれまでに刊行した企画展展示図録及び展示関連商品等の頒布を通して, 頼山陽を始めとする近世の文化・教育等に関する情報を提供する。

○主な頒布品 2020/3/31 現在

頒布物の名称	内容	頒布価格	頒布数	売上額
開館 14 周年記念企画展図録「“詩豪”頼春水～その生涯と書～」	平成 20 年度企画展の展示図録	1,700 円	0	0
開館 16 周年記念企画展「頼聿庵の書～迸る情念～」	平成 23 年度企画展の展示図録	1,700 円	9	15,300
特別展「近代・広島画人伝」	平成 23 年度特別展の展示図録	300 円	6	1,800
特別展「里見雲嶺の画風」	平成 25 年度特別展の展示図録	1,700 円	7	11,900
特別展「田中頼璋とその一門」	平成 26 年度特別展の展示図録	2,000 円	6	12,000
特別展「風流才子の交わり」	平成 27 年度特別展の展示図録	2,000 円	10	20,000
頼家と広島 of 医学	平成 28 年度特別展の展示図録	1,700 円	19	32,300
現代水墨画の旗手	平成 28 年度特別展の展示図録	1,200 円	4	4,800
H25 年度南画精華展	平成 25 年度特別展の展示図録	500 円	6	3,000

H26 年度南画精華展	平成 26 年度特別展の展示図録	1,000 円	1	1,000
H27 年度南画精華展	平成 27 年度特別展の展示図録	1,000 円	2	2,000
H28 年度南画精華展	平成 28 年度特別展の展示図録	1,200 円	4	4,800
H30 年度南画精華展	平成 28 年度特別展の展示図録	1,300 円	17	22,100
一筆箋	「耶馬溪図巻」, 「真率」(山陽の座右の銘), 史跡「頼山陽居室」をモチーフとした 3 冊 1 組の一筆箋	350 円	7	2,450
		3 冊セット 900 円	4	3,600
そ の 他	日本外史を読む, 絵葉書等			262,798
合 計				400,048 円

(10) 会報発行等事業 (他 1)

○事業目的

頼山陽等に関する調査・研究の成果や、会員等の投稿を掲載し、頼山陽に関する理解と認識を深める。

また、旅行者と共催し、頼山陽等に関係のある史跡、名勝を見学し、理解を深める会を企画する。

○事業構成

①会報「雲か山か」発行 発行部数：300 部

第 113 号 令和元年 8 月 31 日

第 114 号 令和 2 年 1 月 31 日

第 115 号 令和 2 年 3 月 31 日

②見学会 実施しなかった。

(11) 財団運営

①理事会

区分	開催時期	議 題	会場
第1回	6月 10日	・平成30年度事業報告を承認した。 ・平成30年度決算を承認した。 ・理事・監事・評議員を選任し、承認した。	頼山陽史跡 資料館館長 室
第2回	6月 25日	・代表理事・専務理事・常務理事を選任し、承認した。	書面決議
第3回	3月 26日	・令和2年度事業計画を承認した。 ・令和2年度収支予算案を承認した。	頼山陽史跡 資料館ロビ ー

②評議員会

区分	開催時期	議 題	会場
第1回	6月 25日	・平成30年度事業報告を承認した。 ・平成30年度決算を承認した。 ・理事・監事・評議員を選任し、承認した。	頼山陽史跡 資料館館長 室
第2回	3月 26日	・令和2年度事業計画を承認した。 ・令和2年度収支予算案を承認した。	頼山陽史跡 資料館ロビ ー